



6月 令和6年6月1日 ちびっこの森通信 vol.223

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・梅雨期の衛生に気をつけ、健康生活の良い習慣をつける
- ・時の記念日・歯と口の健康週間等の行事に興味をもち参加する

～今月の園内学習～

- ・足し算…6の段
- ・掛け算…6の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・歴史カード…「天草四郎」ほか
- ・ひらがなカード…「は行」
- ・国旗カード…ギニアほか
- ・地理カード…岩て県ほか東北地方
- ・声に出して読みたい日本語…論語ほか

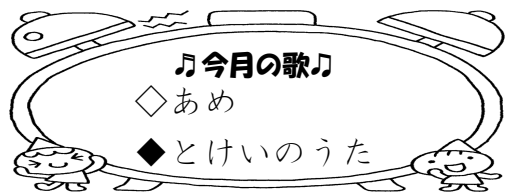
- ・魚への漢字…「かます」「さけ」
- ・英会話…動物、曜日、季節の種類
- ・木への漢字…「くぬぎ」「なら」
- ・絵画カード…「接吻」他

～保育のポイント～

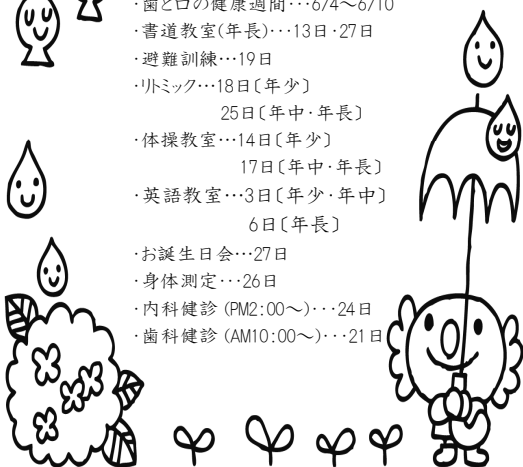
これまでの学校では理性的、認知的発達だけを目指してきました。情動的、直感的、創造的発達をめざすことの大切さを知っていても、それらを育てる具体的な方法を持ちませんでした。そんな中、21世紀の後半に医学、生理学、とりわけ脳科学の分野において革命的な発見がなされ、人間の脳はその機能を左脳と右脳の2つに分化させているという発見がありました。人間の脳はこの2つの脳の両方が連動して働く時、最高の働きを示す、ということをはーバート大学のノーマン・ゲシュウィンとアルバート・ガラバーダは脳を解剖学的に調べ、天才と呼ばれる人達は脳をおしなべて左右バランスよく使っており、普通の人達は脳の使い方が解剖学的に極端に左に偏っていることを立証したのでした。そこで、今までその存在すら認識されてこなかった右脳に「ひらめき」や「想像性」、「創造性」の働きがあり、「感性」や「人間性」も深く関わっていることも分かってきました。さらに左脳は電気系統系の回路で、右脳はホルモン系の情報回路で、人間には2つの異なる情報回路があることも併せて解明されました。(右脳の)イメージには神秘的な働きがあり、それを(潜在的なものを)脳に顕在化させているのが脳内ホルモンの働きであり、脳内の未知なる多くの他のホルモンが奇跡を起こさせる源であると、やがて科学が解明し、より人間の脳の神秘的な働きを明らかにしていくことも近い将来あり得ることでしょう。このように右脳の働きが、次第に科学的に立証されている状況にあります。これからの教育は知識を教えるよりも、本来持っている潜在能力を引き出し、その能力を使う方法を教えることを大切に考えるようにし、知性と直感、心と体、理性と感情の統合教育が大切で、それが教育の究極の目標となることが求められる、とありました。保育園でも非認知能力に着目した保育を取り入れる動きが出てきていますので注目すべき視点としてご紹介する次第です～右脳教育で子どもは変わる(七田眞著)より抜粋～

～行事予定～

- ・歯と口の健康週間…6/4～6/10
- ・書道教室(年長)…13日・27日
- ・避難訓練…19日
- ・小ミック…18日(年少)
- 25日(年中・年長)
- ・体操教室…14日(年少)
- 17日(年中・年長)
- ・英語教室…3日(年少・年中)
- 6日(年長)
- ・お誕生日会…27日
- ・身体測定…26日
- ・内科健診(PM2:00～)…24日
- ・歯科健診(AM10:00～)…24日



♪今月の歌♪
◇あめ
◆とけいのうた



さくら組だより



サンサンと降り注ぐ太陽の下、初々しい淡色の若葉は日に日に色濃くなっていく様はこどもたちの成長同様に素晴らしいと感じさせてくれます。ヒンヤリの朝夕とは対照的に 日中、外遊び帰りのみんなの頬はほんのり赤色に染まり、汗が額を伝う気温上昇の中、元気に遊び回っています。それもそのはず、高所大好き人間の子は競うようにジャングルジムの天辺目指して登り、普段とは違って見える景色に感激して、思わず「ヤッホ～、見て見て！」と下にいる子に声かけしている、微笑ましい光景が見られます。後、すべり台に連結した太鼓橋も恐いもの知らずの子は登ってすべり台で風を切るように滑り楽しんでいます。運動した後はお腹がすくので給食も美味しく召へて、苦手な食材も集団生活効果ですぐに断念することなく挑戦する姿が見られるのも好感が持てるところです。これからジメジメと蒸し暑くなってくるので水分補給など体調管理をし、元気に過ごしていけるようにします。



ひまわり組だより



今月、植えるお芋畑近くをお散歩し、みんなは「いよいよだね」と期待に胸を膨らませている今日この頃。みんなの最近のブームはとあるきっかけで始まったチーム対抗、バトンタッチでつないでいくリレー遊び。各チーム毎に「よく腕振り」や「足高上げ」などが必要だとか、それぞれが遊びとは言え勝利に向けて真剣に作戦を練りリレーに臨む姿は流石だなと感心させられました。先月は、「こどもの日」や「母の日」の行事に加え、カレンダー作成など盛り沢山の製作月間でしたが、「かっこいい兜をつくるには？」とか、「お母さん、喜んでくれるかな？」などめいめいがしっかりとした思いを持って取り組めたのは何よりでした。今後、自我確立した月齢ですので「協調」をテーマに集団でのお約束を守り、お互いに楽しく過ごしていけるように遊び等に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



ゆり組だより



桜やツツジなどの春から本格的な夏前は梅雨の雨粒帽子がよく似合う紫陽花が暫し目を楽しませてくれる季節。こどもたちは蒸し暑さも何のそのと汗が頬を伝う中でも元気な外遊びで夏仕様の身体づくりに取り組んでいます。年長になり、就学準備のため「鍵盤ハーモニカ」と「絵の具」活動が新たに加わり、物珍しさの中で好奇心を増し増しになるのですが、実際に取組むとなると不慣れから「(上手に)できんっ！」と弱音を吐きがちなのですが、鍵盤ハーモニカのホースに息を吹きかけるのと鍵盤を押すタイミングの要領を得るようになると俄然、元気モリモリで頑張る姿が見られるようになってきます。絵の具もパレットの絵の具を濡らした絵筆で加減していく中で適量が把握できるようになってくると満足のいく色加減で自信が出てくる様子が見て取れます。これからもいろんなことがあると思いますが、一つひとつのステップを焦らずしっかりきっちりと学び、こなしていった欲しいと願ひ、よく見守っていくようにします。



給食だより

～食中毒注意報への対策～



開花期間短く淡色で心和ませてくれる桜同様に、清々しい春の季節もあつという間の選手交代。そして、昨今、ジワジワというよりパツと入れ替わつて秋の居場所も奪い居座る蒸し暑い夏が定番となっています。このように気温と温度が高くなつてくると、注意しないといけないのが食中毒。今や国民食の一つで世界でも人気のカレーですが、「二日目のカレーが絶品」と言われ、常温保存したものを食し食中毒で大変、というニュースも記憶に新しいところではないでしょうか？食中毒は有害な微生物(細菌やウイルス)に起因する健康被害と言われ、このカレーのケースのように食品や飲料を介して有害物質が体内に入り、腹痛、嘔吐、下痢や発熱などの症状に見舞われる状況を指します。中でも、暑くなる季節に気をつけたいのが細菌で、これは1年を通じて発生するのですが、特に食中毒を引き起こす細菌は30～40℃で最も増えやすいのでこれから暑くなる季節は要注意と言えます。家庭で発生する食中毒は食品の取扱いの不注意から起こることが殆どですから、その予防は「付けない」、「増やさない」に「やっつける」の3原則を頭に入れ、注意していきましょう。まずは、手洗いの励行、(生野菜を切つてから肉類を切るなど)調理の手順や使用したまな板の消毒の励行などが「付けない」ことでは重要。冷蔵品や冷凍食品は放置することなくすぐに冷蔵・冷凍庫へ保管するようにしましょう。冷蔵庫の詰め込み過ぎや長期間の保管も避けることが「増やさない」ということで念頭に置く必要があります。最後に、多くの細菌が75度以上、1分以上の食材の中心部まで加熱することで死滅することから「やっつける」上で大切なことです。最後に、使用後の調理器具の殺菌には塩素系漂白剤に含まれる次亜塩素酸ナトリウムが有効ですので洗剤で洗つた後の殺菌も励行すると安心に繋がります。後は、食べる前に自分で食品の色、臭い、口に入れての味など異変を感じたら食べない、という自己防衛を図つていき、元気に過ごしていけるようにしましょう。